

経済学A 瀧井克也

授業の目的、ねらい：国内総生産、失業率、インフレーション等の経済の現状を分析する上で用いられる集計的な統計量はいったい何を表しているのか。また、それらの動きはどのように説明できるのか。より具体的には、なぜ一人当たりの国内総生産（一人当たり所得）は国によって違うのか。また、失業者が増えたとき政府には何ができるのか。これらの疑問に答えようとするのがマクロ経済学です。この授業ではマクロ経済学の基本的な考え方を理解することを目的とします。

授業の計画、内容：

授業では主に以下の内容について、教科書にそくして説明する。

1. 国民経済統計の概念
2. 経済成長
3. 貨幣とインフレーション
4. 国際取引と為替レート
5. 景気変動と失業
6. 財政赤字

問題の性質上、教科書に書かれている程度の簡単な数学の理解を必要とする。ミクロ経済学の基礎知識を持っていることを前提とはしないが、ミクロ経済学を前もって受講しておくことは授業の理解を助けるであろう。

成績評価の方法：中間試験30%、期末試験70%のウエイトで評価する。

教科書：シリーズ 新エコノミクス「マクロ経済学入門」 二神孝一 日本評論社

参考図書：特になし